土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業・工事名

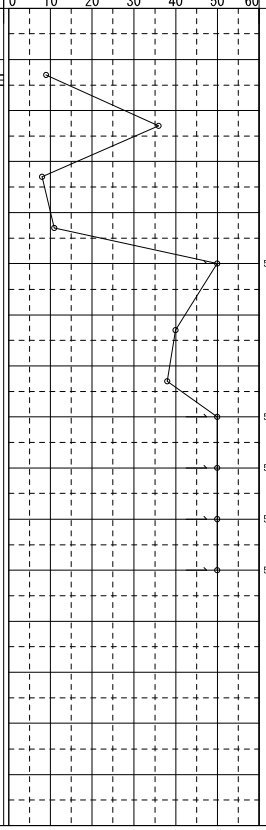
調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.6	調査位置	広島県庄原市口和町（垂直壁中央部）	北緯	34° 55' 10.3250"
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和3年 2月 3日～ 令和3年 2月 5日	東経	132° 53' 46.9510"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 347.68m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	11.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D型 / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	345.68	2.00		礫混じり粘土質砂		暗褐～暗褐灰	rd2		細～中砂主体。 細粒分を20～30%程度含む。 φ10～30mm程度の亜角礫混入。 GL-0.00～1.55m，粘土分多く，植物片混入する。 深度と共に粗砂の含有率が増える。	2/3 1.00
2	344.68	3.00		玉石混じり砂礫		褐灰～茶褐			中～粗砂主体。 φ5～15mm程度の亜角礫と若干の細粒分を混入。 φ75～150mm程度の硬質な花崗閃緑岩質玉石を含有する。	
3				礫・粘土混じり砂		茶褐～褐灰	rd3		中砂主体。 φ20～30mm程度の亜角礫と10～20%程度の細粒分を全体に混入する。 GL-4.60m以深，細粒分の含有量が増える。	
4										
5	342.68	5.00								
6				玉石混じり砂礫		褐灰			中～粗砂主体。 φ2～30mm程度の亜角礫を含む。 玉石はφ75～200mm程度の花崗閃緑岩質玉石で硬質である。	
7	340.08	7.60								
8				花崗斑岩		褐灰～暗褐灰			岩片状～短柱状呈す。 全体的に亀裂が多く，一部粘土を挟む。 潜在亀裂が見られるが，結着性は高く，岩芯は硬質。 RQD 7.60～8.00m　15% 8.00～9.00m　11% 9.00～10.00m　12% 10.00～11.00m　11% 岩級区分 7.60～8.00m　CM 8.00～10.45m　CL 10.45～11.00m　CM	
9										
10										
11	336.68	11.00								
12										
13										
14										
15										
16										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	2	3	4	9/300		
	1.45						
36	2.15	6	9	21	36/300		
	2.45						
8	3.15	2	3	3	8/300		
	3.45						
11	4.15	2	5	4	11/300		
	4.45						
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
					0		
40	6.15	20	11	9	40/300		
	6.45						
38	7.15	6	10	22	38/300		
	7.45						
50以上	8.00	貫入不能			50/0	0	
					0		
50以上	9.00	貫入不能			50/0	0	
					0		
50以上	10.00	貫入不能			50/0	0	
					0		
50以上	11.00	貫入不能			50/0	0	
					0		

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/3
				2/4
				2/5